様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	宇都宮アートアンドスポーツ専門学校
設置者名	学校法人　大久保育英会

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養専門	声優・アナウンス科	夜・通信	240 単位時間	160 単位時間	
商業実務専門	スポーツビジネス科	夜・通信	240 単位時間	160 単位時間	
文化教養専門	芸術・デザイン科	夜・通信	180 単位時間	160 単位時間	
	文芸創作科	夜・通信	180 単位時間	160 単位時間	
	ファッションビジネス科	夜・通信	240 単位時間	160 単位時間	
商業実務専門	情報ビジネス科	夜・通信	300 単位時間	160 単位時間	
商業実務専門	情報ビジネス専修科	夜・通信	180 単位時間	160 単位時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.ubdc.ac.jp/art/careersupport/release/

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	宇都宮アートアンドスポーツ専門学校
設置者名	学校法人　大久保育英会

１．理事（役員）名簿の公表方法

学校内掲示板および学生室に掲示

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2023. 3. 16～ 2025. 3. 15	人事、財務
非常勤	株式会社役員	2023. 3. 16～ 2025. 3. 15	経営、労務
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	宇都宮アートアンドスポーツ専門学校
設置者名	学校法人　大久保育英会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） ・　授業計画（シラバス）の作成過程 授業担当が主体として授業計画を更新・作成すると共に教育課程編成委員の意見を参考に作成していく。 ・　授業計画の作成・公表時期 新年度（４月）開始前までに作成および公表していく	
授業計画書の公表方法	https://www.ubdc.ac.jp/art/careersupport/release/ および学生室に提示
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） １　単位授与または履修認定について ⑴本校が行う各年度の学期末試験において、それぞれの科目ごとに合格点を得ること。 ⑵本校が行う授業には、年度ごとに年間授業時間数の８０％以上の出席をすること。 ⑶本校が指定した公認の「検定試験」に合格すること。 成績評価については、各科目毎に次のようにする。 １００点～８０点　優　７９～７０点　良　６９～６０点　可　５９点以下　不可	

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 各科目ごとに評価試験を実施する。 学期末ごとに試験を実施することで評価する。 100 点満点の中で、優、良、可、不可を評価。 100 点～80 点　優　79～70 点　良　69～60 点　可　59 点以下　不可 学期末試験結果をもとに個人別全教科の平均点値を算出。 学科ごと学生ごとの平均点分布を求めることができる。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.ubdc.ac.jp/art/careersupport/release/
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 本校を卒業するにあたっては、次の各号の要件を全て満たしている者であり、かつ、人物・行動が産業界で役に立つ働きをすることが期待できる者とする。 (1) 本校が行う各年度の各学期末試験において、それぞれの科目ごとに合格点を得ること。 (2) 本校が行う授業には、各年度ごとに年間授業時間数の８０％以上の出席をすること。 卒業判定会議は、毎年度最後の学期末試験の結果が判明した時点で行う。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.ubdc.ac.jp/art/careersupport/release/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	宇都宮アートアンドスポーツ専門学校
設置者名	学校法人　大久保育英会

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.ubdc.ac.jp/art/careersupport/release/
収支計算書又は損益計算書	学校内掲示板および学生室に掲示
財産目録	学校内掲示板および学生室に掲示
事業報告書	https://www.ubdc.ac.jp/art/careersupport/release/
監事による監査報告（書）	学校内掲示板および学生室に掲示

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
文化・教養		専門	声優・アナウンス科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	1830 単位時間	160 単位時間	0 単位時間	1460 単位時間	0 単位時間	1560 単位時間
			3180 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
70 人	37 人	0 人	1 人	8 人	9 人

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
商業実務		専門	スポーツビジネス科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	1770 単位時間	810 単位時間	220 単位時間	860 単位時間	0 単位時間	300 単位時間
			2190 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
70 人	54 人	0 人	2 人	3 人	5 人

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門	芸術・デザン科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	1830 単位時間	160 単位時間	1550 単位時間	750 単位時間	0 単位時間	630 単位時間
			3090 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
70 人	45 人	0 人	４人	２人	６人

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門	文芸創作	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	1770 単位時間	280 単位時間	1130 単位時間	390 単位時間	0 単位時間	150 単位時間
			1950 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30 人	18 人	0 人	２人	６人	８人

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門	ファッションビジネス科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	950 単位時間	380 単位時間	240 単位時間	200 単位時間	0 単位時間	250 単位時間
			1070 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30 人	５人	0 人	１人	６人	７人

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門	情報ビジネス科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	1980 単位時間	460 単位時間	1130 単位時間	390 単位時間	0 単位時間	150 単位時間
			2130 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人	19 人	0 人	２人	６人	８人

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>専門</td><td colspan="2">情報ビジネス専修科</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">２年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">1920 単位時間</td><td>870
単位時間</td><td>480
単位時間</td><td>390
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>180
単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">1920 単位時間</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	10 人	0 人	２人	６人	８人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
主に講義・演習他に実技を通して各学科の目指す技術を体得する。
また、卒業年次では体得した技術を活かし希望進路に進めるよう指導する。

成績評価の基準・方法

（概要）
本校では、日常の授業を行った結果、次の各号における教育成果を確認することを目的とするとともに、それ以降の教育指導の資料とすることを目的として、学期末ごとにテストを行う。
(1) 知識力の向上を要求される科目にあっては、知的学力の水準
(2) 実践力の向上を要求される科目にあっては、実践能力の水準
２ 学期末に行うテストの内容は、日常の授業の中で重要と思われる点に重点を置く
３ 学期末に行うテストの日程は、各年度ごとに決定し年度の当初に公表する。
４ 本校が行う各学期末テストにおいては、それぞれの科目ごとに「６０点」未満を不合格とする。
５ 成績評価については、各科目毎に次のようにする。

８０～１００点　　優
７０～７９点　　良
６０～６９点　　可
５９点以下　　不可(不合格)

卒業・進級の認定基準

（概要）
進級
進級するにあたっては、次の各号の要件を全て満たしている者であり、かつ、人物・行動が本校の学生としてふさわしいと進級判定会議で認められた者とする。
(1)本校が行う各年度の学期末試験において、それぞれの科目ごとに合格点を得ること。
(2)本校が行う授業には、各年度ごとに年間授業時間数の８０％以上の出席をすること。
(3)本校が指定した公認の「検定試験」に合格すること。又は、本校の行う「進級試験」に合格点を得ること。
２ 進級判定会議は、毎年度最後の学期末試験の結果が判明した時点学で校長がこれを招集し行う。

卒業
本校を卒業するにあたっては、次の各号の要件を全て満たしている者であり、かつ、人物・行動が産業界で役に立つ働きをすることが期待できる者とする。
(1)本校が行う各年度の学期末試験において、それぞれの科目ごとに合格点を得ること。
(2)本校が行う授業には、各年度ごとに年間授業時間数の８０％以上の出席をすること。
卒業判定会議は、毎年度最後の学期末試験の結果が判明した時点で行う。

学修支援等
本校では担任制をとり学生とのコミュニケーションを重視している。そのため学生一人ひとりと面談をする時間を設けている。また出席管理においても欠席が目立つ学生には保護者に状況を伝え三者面談を実施している。学習面においても授業の補習などを実施し、学生が順調に進級、卒業できるよう支援している。

（概要）

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数		進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
声優・アナウンス科	１９人	０人	１８人（94.7%）	１人（5.3%）
スポーツビジネス科	１６人	０人	１５人（93.8%）	１人（6.3%）
芸術・デザイン科	２１人	０人	１６人（76.2%）	５人（23.8%）
文芸創作科	１２人	2人(16.7%)	１０人（83.3%）	０人
ファッションビジネス科	３人	０人	３人（100.0%）	０人

（主な就職、業界等）
声優・アナウンス科
声優・俳優(舞台俳優・アクション俳優等)として、芸能界に就職。その他、アナウンサー・ナレーター・キャスター等として、テレビ・ラジオ等の放送業界に就職。

スポーツビジネス科
スポーツインストラクター・トレーナー・運動指導士等の職種で、主にフィットネスクラブやスポーツジム・スイミングクラブ・リハビリ系診療所・運動指導を要する福祉施設等に就職。また、スポーツ用品のアドバイザーとしてスポーツ用品販売業や、運営スタッフとしてプロスポーツ団体等に就職。

芸術・デザイン科
アニメーター(作画スタッフ・仕上げスタッフ)としてアニメ制作業界、デザイン担当職にて印刷・出版・販売系業界、漫画家として出版業界に就職。

文芸創作科
小説家(ライトノベル等)・フリーライターとして作家活動のほか、印刷・販売・工芸品制作業界等に就職。

ファツションビジネス科
ファッションアドバイザー・コーディネーターやデザイナー・制作スタッフとして、アパレル業界に就職。

情報ビジネス科
プログラマーやシステムエンジニアとして主にコンピュータのソフトウェア・システム開発業界へ就職。その他、運用・保守等の職種にて WEB・インターネットサービス業界やシステム運用・保守業界等へ就職予定

情報ビジネス専修科
プログラマーやシステムエンジニアとして主にコンピュータのソフトウェア・システム開発業界へ就職。その他、運用・保守等の職種にて WEB・インターネットサービス業界やシステム運用・保守業界等へ就職予定

（就職指導内容）
就職セミナー(講話)や就職ガイダンス(就職希望調査・就職情報誌の制作提供、履歴書やポートフォリオ等の就職関連書類作成についての指導・会社訪問対策・受験対策等)を実施。個別就職相談・個別面接指導の実施。
学校主催による合同企業説明会の開催、校内での企業説明会の実施。
会社訪問・入社試験のエントリー(アポイント等)を支援。
スポーツ業界でのインターンシップ実施。
芸能系プロダクションを招いて、学校主催のオーディションを実施。
就職活動の際にＷｅｂ説明会、Ｗｅｂ面接増加に伴うＷｅｂ指導。

（主な学修成果（資格・検定等））
声優・アナウンス科
進級演劇公演の実施、卒業演劇公演の実施、校内オーディション参加、地元などのイベントにＭＣや出演者として参加、フィルムコミッションや事務所からのオファによる映画、テレビ番組、ＣＭなどの撮影にエキストラとして出演、他。
スポーツビジネス科
ＮＳＣＡパーソナルトレーナー合格　ＪＡＴＩ日本トレーニング指導者協会主催トレーニング指導者認定試験合格、日本ワークアウトコーチ協会認定ワークアウトコーチ（初級・中級）取得　日本障がい者スポーツ協会　初級障がい者スポーツ指導員取得　幼児体育指導者試験２級取得
ムーブメントワークアウト（初級・中級）取得　他。
芸術・デザイン科
宇都宮市主催もったいない４コマまんがコンクール特別賞受賞
似顔絵塾入選　宇都宮中央警察署自動車事故防止ポスター採用
日本創芸教育主催似顔絵師取得　産学連携県内野球プロチーム似顔絵Ｔシャツ制作
コミックアート展実施　イラスト集制作　色彩関係検定受験
文芸創作科
下野新聞社主催しもつけ文芸詩部門入選　宇都宮市民芸術祭文芸部門奨励賞受賞
小説投稿サイト「星の砂」ショートショートコンテスト審査員奨励賞受賞　とちぎ朝日虹色ソネット入賞　下野新聞しもつけ文芸誌部門入選

ファッションビジネス科
　日本ファッション教育振興協会主催ファッション販売能力検定１級合格　色彩検定２級合格　ファッションビジネス能力検定２級合格　パターンメーキング３級合格他。
情報ビジネス科
　国家試験である情報処理技術者試験基本情報合格　応用情報技術者試験を受験。

情報ビジネス専修科
　国家試験である情報処理技術者試験基本情報合格　応用情報技術者試験合格、情報処理安全確保支援士合格を受験

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数		年度の途中における退学者の数	中退率
声優・アナウンス科	４１人	２人	4.9%
スポーツビジネス科	５０人	６人	12.0%
芸術・デザイン科	４３人	１人	2.3%
文芸創作科	２１人	１人	4.8%
ファッションビジネス科	８人	０人	0.0%
情報ビジネス科	１０人	２人	20.0%
情報ビジネス専修科	９人	０人	0.0%
合計	１８２人	１２人	6.6%

（中途退学の主な理由）
・集団生活不適応・精神疾患・経済的

（中退防止・中退者支援のための取組）
・学生、保護者面談の実施・公共施設カウンセリング紹介・奨学金案内　就学支援金や個別学生指導　中途退学者には今後の進路について相談に応じる。

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
声優・アナウンス科	100,000 円	660,000 円	270,000 円	施設費
ｽﾎﾟｰﾂﾋﾞｼﾞﾈｽ科	100,000 円	660,000 円	270,000 円	施設費
芸術・ﾃﾞｻﾞｲﾝ科	100,000 円	660,000 円	270,000 円	施設費
文芸創作科	100,000 円	660,000 円	270,000 円	施設費
ﾌｧｯｼｮﾝﾋﾞｼﾞﾈｽ科	100,000 円	660,000 円	270,000 円	施設費
情報ビジネス科	100,000 円	660,000 円	280,000 円	施設費
情報ﾋﾞｼﾞﾈｽ専修科	100,000 円	730,000 円	270,000 円	施設費
修学支援（任意記載事項）				
保護者との相談の上入学金や授業料納付時期を猶予する。併せて学費分納にも相談に応じる。				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
https://www.ubdc.ac.jp/art/careersupport/release/
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
学校関係者からなる学校関係者評価委員会を編成する。教育目標、教育環境、教育実績など自己評価したものを各委員の意見に基づき学校関係者評価をする。その結果を真摯に受け止め今後の学校運営の改善に寄与する。 ・「教育活動」の評価項目は教育課程の編成・実施方針、教育到達レベル・学習時間の確保、カリキュラム編成、授業評価の実施、進級卒業判定基準などの評価。 ・「学生支援」の評価項目は進路・就職指導の体制、学生相談の体制、学生に対する経済的支援の体制、健康管理を担う組織体制などを評価。 ・評価委員会の構成　委員定数４人以上　委員の選出として企業、卒業生など外部委員とする。 ・評価結果の活用方法　評価を受けた後、学校長を責任者として学校職員を含めた委員会において改善策を検討し実行していく。
学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
㈱スポーツクラブ	2023/4/1 ～ 2025/3/31（2 年）	企業委員
デザインスタジオ	2023/4/1 ～ 2025/3/31（2 年）	企業委員

税理士事務所	2023/4/1 ～ 2025/3/31 (2 年)	企業委員
他の学校職員	2023/4/1 ～ 2025/3/31 (2 年)	卒業生委員

学校関係者評価結果の公表方法
https://www.ubdc.ac.jp/art/careersupport/release/
第三者による学校評価（任意記載事項）

c ）当該学校に係る情報

https://www.ubdc.ac.jp/art/